坂元小だより

鹿児島市立坂元小学校
学　校　だ　よ　り
令　和　８　年　７　月　号
発行責任者：岩下修一

～やってみよう 頑張ってみよう みんなが笑顔の坂元小～

「みんなでつくる、みんなの坂元小学校 ～学校運営協議会(Ｃ・Ｓ)の役割～

坂元小学校　校長　岩下 修一

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本校では「地域とともにある学校」を目指し、学校運営協議会（Ｃ・Ｓ＝コミュニティ・スクール）を設置しています。この言葉を耳にしたことはあっても、「具体的に何をする協議会なのだろう？」と疑問に思われている方も多いのではないでしょうか。今回はその大切な役割と、私たちが目指すこれからの坂元小学校の姿についてお伝えします。

学校運営協議会の役割とは？

学校運営協議会の役割は、大きく分けて３つあります。

(1) **学校の経営方針を共有し、承認する**　校長が示す「このような学校を目指したい」という経営方針について委員の皆様（地域の代表や保護者代表、学識経験者など）と共有し、承認をいただきます。学校と地域が同じ方向を向くための土台づくりです。

(2) **学校運営について意見を届ける**　「子どもたちの安全のために、こんなサポートができるのではないか」「地域の行事に子どもたちが関わる機会を作ってはどうか」など、地域の声を学校の運営に反映させていきます。

(3) **地域と学校をつなぎ、協働の輪を広げる**　話し合いだけで終わらせず、授業のサポートや環境美化、登下校の見守りなど、地域全体で子どもたちの学びや安全を支える具体的な仕組みをつくっていきます。

「地域で育てる」を、当たり前の日常に

これまで学校は、どうしても「先生たちだけで運営する場所」になりがちでした。しかし、これからの予測困難な時代を生き抜く子どもたちに必要なのは、多様な大人との関わりです。

授業の中で地域の方の思いやお話を聞く（右写真）、地域の行事に一緒に取り組む、登下校時に優しく声をかけてもらう。こうした地域の方々とふれあう経験が、子どもたちの自己肯定感を高め、郷土・坂元を愛する心を育てます。

１年生の昔遊びの学習（R7 11月）

「学校運営協議会」は、そのためのコーディネーター役です。この協議会を軸に、学校と地域がパートナーとして手を取り合い、子どもたちの幸せな未来を一緒に育んでいきたいと考えています。保護者や地域の皆様が「できるときに、できることで」学校に少しだけ関わっていただくこと、それ自体が立派な支援です。

７月７日の第２回学校運営協議会の内容とお願い

本校の学校運営協議会の委員は、学校便り６月号で紹介しました９名の方々です。７月７日の２回目の会合では、図書の貸し出し状況、体力調査結果、健診結果、メディアコントロール週間の取組状況、生徒指導の状況等について、資料をもとに協議し、意見をいただきました。

ぜひ、保護者や地域の皆様の意見やアイデアを学校や学校運営協議会へお寄せください。子どもたちを真ん中に置いた温かい学校づくりに、これからもどうぞお力添えをお願いいたします。

＊裏面もあります。